

平成 29 年(2017 年) 4 月 4 日
建設経済部商工観光労政課

いにしえから伝わる寺宝を特別公開します！

『**国宝長寿寺・寺宝初公開**』

■概要

国宝長寿寺に古くから伝わる寺宝を初公開します。

■公開する寺宝

①国内に二つしかない【長寿寺制札】

寺内へ軍勢等の乱入狼藉を禁止した足利高氏(足利尊氏)の制札で、元弘三年(1333 年)五月二十五日の日付からみると、この戦乱中の禁制は数例知られているが、制札では長寿寺と金剛心院(京都)の二例だけです。

②室町時代に作られたと思われる【素焼きの壺】

享徳時代(1452～1455 年)に建立されたと思われる三重塔趾の地中から発掘された鎮壇具に用いられた素焼きの壺。三重塔は、織田信長によって安土城山中の摠見寺に移築され、現在も重要文化財として現存しています。

■長寿寺について

奈良時代後期の天平年中(729～748 年)に紫香楽宮の鬼門を守護するため、聖武天皇の勅願によって良弁が創建したと伝えられています。その後、平安時代にかけて、湖南市(旧・石部町南部)の阿星山ふもとには多くの寺が建ち並び、「阿星山五千坊」と呼ばれるほどの天台仏教圏を形成するようになりましたが、現在その面影を留めるのは、西寺の常楽寺・東寺の長寿寺のみです。

桜や新緑、紅葉の季節には美しい参道を行くと、右手に石造多宝塔があり、前方には、低くて形姿のすぐれた国宝の本堂。収蔵庫には、大仏の阿弥陀如来坐像が安置されています。本堂前にある弁天堂は、小池の中島に立っていて小規模ながら美しい建築です。

<国宝>本堂・春日厨子

<重文>弁天堂・絹本著色十六羅漢像 16 幀・木造阿弥陀如来坐像 2 軀・木造釈迦如来坐像

■特別公開期間

平成 29 年 4 月 29 日(土)から 5 月 31 日(水)

拝観時間 : 10 時～16 時

■開催場所

長寿寺 〒520-3211 湖南市東寺 5 丁目 1 番地 11

■拝観料

500 円

■問い合わせ

長寿寺 〒520-3111 湖南省東寺 5丁目 1番地 11

電話 : 0748-77-3813



〒520-3288

滋賀県湖南省中央一丁目1番地

湖南省役所 秘書広報課

TEL 0748-71-2314 FAX 0748-72-1467